

地域自立支援協議会 会議要録

会議名:令和7年度第2回白井市地域自立支援協議会全体会

日時:令和7年10月2日(木) 14時45分～

場所:団体活動室 2・3

出席者:鈴木会長、小林副会長、島田委員、大網委員、久保委員、新田委員、高木委員、東坂委員、橋本委員、野路委員、西原委員(代理)、中村委員、山本委員、松村委員、久松委員、高橋委員、秋本委員、川野委員(18名)(以下、敬称略)

事務局:石田課長、工藤、浦尾、久保田、秋濱、高橋(障害福祉課)

:飯ヶ谷、甲斐、川島(基幹相談支援センター)

欠席者:石川委員、石田委員、岡田委員、山崎委員

傍聴者:0名

資料:

資料1	会議次第
資料2	委員名簿
資料3	令和7年度 地域自立支援協議会年間予定
資料4	白井市障害者計画 2016-2025 中間見直し版 結果概要(令和6年度)
資料5	白井市障害者計画 2016-2025 中間見直し版 自己評価集計表(令和6年度)
資料6	白井市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の進捗状況について
資料7	全体研修会 開催企画書
資料8	生活支援部会 上半期活動報告
資料9	就労支援部会 活動報告
資料10	指定障害福祉サービス事業者等の指定等に関する市町村意見申出制度の取り扱いについて
資料11	研修等お知らせ

議題:

- (1) 白井市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の達成状況と白井市障害者計画 2016-2025 評価報告、今後の重点課題について

資料4	資料5	資料6
-----	-----	-----
- (2) 全体研修会について

資料7

- (3) 各専門部会の上半期の活動報告と下半期の活動予定について

資料8	資料9
-----	-----
- (4) 指定障害福祉サービス事業者等の指定等に関する市町村意見申出制度の導入について

資料10

- (5) その他

資料11

【委嘱状交付】

新委員に対して委嘱状交付式が行われた

【白井市地域自立支援協議会 会議】

<課長挨拶>

石田障害福祉課長より、4月に設置された基幹相談支援センターが行政と共に本協議会の事務局を担い運営していることについて言及があった。また、委員との連携により重層的な支援体制が整いつつあることへの謝意が述べられ、就労選択支援等の新制度への対応に向けて、引き続きの協力をお願いしたい旨の発言があった。

<自己紹介>

新任委員を含む出席者が、所属・氏名を順次紹介した。

議題 Ⅰ 白井市第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の達成状況 白井市障害者計画 2016-2025 評価報告、今後の重点課題について
--

事務局より、資料4、5、6に沿って説明。

- 本議題に関する追加の質疑等を令和7年10月10日17時15分まで障害福祉課で受け付け、期限までに意見がなければ承認。(10日までに追加質疑なく、承認)

【計画の概要】

障害者計画は市の障害福祉が目指す長期的・大局的な方向性を示すものであり、障害福祉計画はそれを具体的に実現するため、サービス提供の質・量や人員配置等を定める実務的な計画であると説明された。

<白井市障害者計画 中間見直し結果(令和6年度) 評価報告>

平均達成度:2.07点(5段階評価)

高評価項目:学童保育・放課後等デイサービスの利用者増により、「障がい児保育・教育の充実」が進んだ。

低評価項目:「スポーツ・文化活動支援」に進捗不足が見られた。

<第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の進捗状況 報告>

《主な指標の状況》

地域生活への移行者数:0名(目標2名)

就労移行支援事業の利用者数:9名(目標12名)

重症心身障害児を支援する事業所の確保:未確保・未達成

医療型短期入所の整備:未整備

重度訪問介護のサービス提供量:見込み数に対し不足

《今後の重点施策》

障害者計画等策定委員会の審議を踏まえ、以下の3点を重点的に取り組む。

- ① 白井市基幹相談支援センターを核とした相談支援の充実
- ② 交流や理解、意見交換のための活動の支援
- ③ 障害のある人が安心して住み慣れた地域で暮らせる仕組み作り このほか、達成度の低かったスポーツ活動については、「スポーツ文化芸術活動の振興」として改善に取り組んでいく

<質疑応答>

ペアレントメンターについて

橋本委員：ペアレントトレーニング等の受講者がペアレントメンターになるのか。

事務局：ペアレントプログラムは市民向けにも開催しており、千葉県発達障害者支援センター（CAS）からメンターを招いて紹介も行っているが、現在白井市在住のメンターはいない。市在住の方がCASの研修を受け登録されれば、市内での配置が可能になる。

重度訪問介護の見込み数について

小林委員：見込み数3名の根拠は？

事務局：過去の利用状況を基に算出しており、将来的に必要な数を提供できるよう、事業所の誘致等で体制を整えていく計画である。

インクルージョンを推進する体制について

久松委員：体制の具体的な内容については？

事務局：保育所等訪問支援を指しており、「市こども発達センター」や「フラヴィキッズ」「ふれも白井」が実施するなど、担い手となる事業所が少しずつ広がっている。

地域活動支援センターについて

会長：計画上の市内3箇所の内訳を教えてください。

事務局：白井市直営のⅢ型事業所が1箇所、成田地域生活支援センターⅠ型への委託が1箇所、柏市のⅢ型事業所の利用者がいたため、合わせて3箇所となる。

その他、複数の委員から、重度障害者等包括支援や短期入所の体制不足に関する懸念が示された。

議題2 全体研修会について

事務局より資料7に沿って説明。

➤ 承認

テーマ：「ひきこもり支援 はじめの一步」

日時：令和8年1月14日（水）15時00分～17時00分

講師：NPO法人リンク代表 赤堀氏、白井市くらしと仕事のサポートセンター相談員

対象：地域自立支援協議会委員、市内福祉サービス事業所職員、関係機関職員、民生委員・児童委員、市民等

<質疑応答>

対象範囲を広く設定した点について、委員から地域住民への理解促進につながるとして評価する意見があった。

議題3 各専門部会の上半期の活動報告と下半期の活動予定について

大綱部会長、高木部会長より資料8、9に沿って、各専門部会の活動について報告。

<生活支援部会：大綱部会長>

相談ワーキンググループ：

困難事例の検討、インフォーマル資源の整理、実態に対する課題を検討した。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム：

第1回会議を終了し、「メンタルサポートマップ」が完成。精神科医療機関との連携を継続する。

こどもワーキンググループ：

「ちょっと気になる子どものサポートマップ」が完成。市の教育支援課主催で、教育と福祉の合同研修会を令和 8 年 2 月に開催予定（講師：基幹相談支援センター 甲斐氏）。

医療的ケア児支援協議の場：

8 月に実施。市内の医療的ケアが必要な障がい児者等の人数やニーズに関するアンケート調査を検討。

<就労支援部会：高木部会長>

上半期の活動：

6 月と 8 月に部会を開催。8 月の部会では、市内就労継続支援 B 型事業所の工賃向上に向け、合同販促や地域企業との連携について意見交換を行い、イベント時に出張販売を行う。

就労相談会：

令和 7 年 11 月 7 日（金）10 時より保健福祉センターで開催するが、現時点で申込者がいない状況。

下半期の活動予定：

11 月 27 日に第 3 回、令和 8 年 2 月 12 日に第 4 回の部会を予定。また、令和 8 年 2 月 3 日に「企業就労応援フェア in 白井」を開催予定。

<質疑応答>

就労相談会の周知について

小林委員：周知協力の方法について質問があり、各公民館等へのチラシ持参は可能である。

事務局：市の公式 LINE や広報しろい、庁内デジタルサイネージ等で周知予定。

・委員からは、地域の回覧板の活用（橋本委員）、イベントでのチラシ配布（大網部会長）、各事業所のウェブサイトや SNS での発信（村松委員）など、多様な協力案が提案された。

議題 4 指定障害福祉サービス事業者等の指定等に関する市町村意見申出制度の導入について

事務局より資料 10 に沿って説明。

従来、千葉県が行っていた事業所の指定について、市町村が地域のニーズを反映した意見を述べることができる制度であると説明。白井市では、全ての事業所を対象に、市の事業相談シートを利用した事前相談を経て意見を付していくこととしている。

議題 5 その他

小林委員、事務局より資料 11 等に沿って、研修会に関する情報提供。

以上